

JAL、「健康経営銘柄2022」に選定 また、JALグループ20社、「健康経営優良法人2022」に認定

2022年3月9日
第 21125号

JALは、健康経営が高く評価されて「健康経営銘柄2022」(*1)に選定されました。JALが「健康経営銘柄」に選定されることは、5年ぶり4度目となります。

また、JALグループ20社は、日本健康会議による「健康経営優良法人2022」(*2)に認定されました。

(*1)「健康経営銘柄」は、経済産業省が東京証券取引所と共同で、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。

(*2)「健康経営優良法人認定制度」は、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営(*)を実践している企業を顕彰する制度です。(※)NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【JALグループの健康に関する取り組み】

- ◆ 健康推進計画「JAL Wellness 2025」を策定しました。「生活習慣病」「がん」「メンタルヘルス」「たばこ対策」「女性の健康」の5つを重点項目として、社員・会社・健康保険組合が一体となって、社員と家族の健康づくりに取り組んでいます。
- ◆ 経営の強いリーダーシップを示す「健康経営責任者」と全国の事業所には健康推進役である「Wellnessリーダー」を配置し、職場ごとの取り組みを強化しています。
- ◆ 女性の健康を重視し、婦人科検診費用の全額補助、受診機会拡充や、e-Learning などリテラシー向上に努めています。
- ◆ 2021年度の主な取り組みとして、「JAL Wellness 2025」の内容を MyBook として分かりやすくまとめ、全社員に向けて Web 配信しました。また、東京 2020 大会開催に向けて、全国の職場にて、リレー形式でのカウントダウンエクササイズなどを行いました。



「カウントダウンエクササイズ」にはJALアスリート社員も参加

【「健康経営優良法人2022」に認定されたJALグループ20社】会社名(順不同)、()は「健康経営優良法人」認定回数
日本航空株式会社(4回目)、株式会社JALグランドサービス(初)、日本トランスオーシャン航空株式会社(5回目)、株式会社JALスカイ(4回目)、株式会社JALスカイ九州(初)、株式会社JALスカイ札幌(2回目)、株式会社JALスカイ大阪(1回目)、株式会社JALエンジニアリング(3回目)、株式会社JALグランドサービス札幌(初)、株式会社JALナビア(4回目)、ジャルロイヤルケータリング株式会社(初)、株式会社JALJTAセールス(初)、株式会社JALサンライト(4回目)、株式会社JALインフォテック(初)、株式会社JALグランドサービス大阪(初)、株式会社JALグランドサービス九州(初)、株式会社ジャルセールス(5回目)、株式会社ジャルパック(4回目)、日本エアコミューター株式会社(初)、株式会社JALマイレージバンク(3回目)

※日本航空株式会社、日本トランスオーシャン航空株式会社、株式会社JALスカイ、株式会社JALナビア、株式会社JALサンライト、株式会社ジャルセールス、株式会社ジャルパック、株式会社JALマイレージバンクの8社は、上位500社が選ばれる「ホワイト500」に認定

※株式会社JALスカイ大阪、株式会社JALJTAセールスの2社は、中小規模法人部門で認定。また、株式会社JALスカイ大阪は、上位500社が選ばれる「ブライト500」に認定

JALグループは今後も、「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」を目指して、その原動力である社員と家族のため、健康経営を推進し続けます。